

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成31年2月15日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4698900018
法人名	有限会社 笑風会
事業所名	グループホーム ゆい
所在地	鹿児島県奄美市笠利町喜瀬2437番地1 (電話) 0997-55-2278
自己評価作成日	平成30年12月25日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成31年1月18日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

グループホームゆいは、奄美大島の玄関口空港のある笠利町に位置しております。施設は喜瀬湾を見下ろせるのどかな集落の一角に建っています。平屋で2ユニットあり、18名入居されています。入居されているお年寄りの方は、暖かい日は海の傍の護岸に出てこられ海の潮風を感じながら職員と散歩を楽しんだり、夏はそこでスイカを食べたり体操をしたり、時には昼食を摂ったりと自然の中で過ごされています。又喜瀬集落行事にも積極的に参加しています。老人クラブとの交流会は毎年5月に施設で行っています。会員20名の方と椅子に座ってのサッカーゲームやお茶会を行っています。そして毎年近隣の小学校から低学年生18名が訪問してくれ、今年は子供とお年寄りペアを組みチーム対抗での輪投げ・パンくい競争を楽しみました。10月になると島の行事[豊年祭]の種おろしです。集落の方が夜7時頃三味線、太鼓を鳴らしながら施設の門から入ってこられ施設の中庭で輪になり踊りを繰り広げます。今年は寒い晩でしたが施設の中から見学する人や、思わず中庭で踊る人もいます。お年よりは部屋の中でも手踊りを楽しんでいました。このように私達は地域とのかかわりを大事にし今できることを一緒に楽しめるように心がけています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・地域の種おろし行事では、集落の人達が事業所に来て戸外で踊り、利用者はホーム内で手踊りをして集落民と一緒に楽しんでいる。
- ・毎年、小学校の児童たちとの交流会で利用者とペアでパン食い競争などで利用者と接する機会があり、思い出を作っている。
- ・外での散歩を好む利用者が多く、利用者と一緒に散歩する機会を多く持っている。
- ・利用者が調理してお好み焼きを作ったり、護岸にテーブルを出してスイカを食べたり、事業所の中庭でお茶とおやつを楽しむ等、利用者が楽しみながら食事ができるよう支援している。
- ・日曜日以外毎日、午前中に入浴が楽しめるよう支援しており、入浴拒否があっても最低週2回は入浴できるよう支援している。便失禁の時にも入浴する事で心身的にも気持ちよく過ごせる様に支援している。事業所のタンカン農園で取れたタンカンを浴槽に浮かべ、色と香りを楽しめる入浴支援を工夫している。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	<p>○理念の共有と実践</p> <p>地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている</p>	<p>朝の申し送り時には理念を共有し日常的に地域との交流ができ、実践していけるように努めています。</p>	<p>毎朝の申し送り後に理念を唱和し、一日の目標を立て実践に繋げている。理念に掲げている地域の人々との絆を図るため、地域の老人会等の行事に参加して、地域との交流を心掛けている。</p>	
2	2	<p>○事業所と地域とのつきあい</p> <p>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している</p>	<p>毎年地域の一員として地域の行事に参加している。豊年祭の時は地域の方が来られ施設中庭で入居者の方と八月踊りを踊り交流の場となっている。</p>	<p>老人クラブの慰問活動や小学生との交流では生徒とペアを組み輪投げやパン食い競争などのレクリエーションを楽しんでいる。豊年祭では事業所として参加している。屋内や中庭で地域の方と一緒に八月踊りを車いすの利用者も手踊りで三味線・太鼓に合わせ、楽しむなど、日常的に交流を行っている。</p>	
3		<p>○事業所の力を生かした地域貢献</p> <p>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。</p>	<p>毎年地域のお年寄りや、子供たちに施設に足を運んでもらい、施設の中の様子や認知症の方との交流を通し肌で感じてもらうように勤めています</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>2ヶ月に1回の運営推進会議で事業所の事業報告や取り組みを説明。内容に対して意見をいただいたり、助言をいただいています。</p>	<p>運営推進会議は定期的に関催し、外部評価の報告等を行い参加者から各集落の行事や老人会の報告、行政からは介護保険についての説明を聞くこともある。事故報告に助言を頂く等、サービス向上に活かしている。</p>	
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる。</p>	<p>市町村担当者には、運営推進会議に参加していただき施設での対応に困難な事柄等、担当者に相談や報告を行って協力いただいています。</p>	<p>運営推進会議に町担当者も参加してもらっており、困難な事例等は事業所で話を聞いてもらう等、利用者家族の相談にも応じてもらい、適切なアドバイスで問題解決に繋げている。行政から研修の案内で職員が参加するなど、協力関係を築いている。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>朝の申し送りの時や、職員会議時に自分たちが行っているケアは身体拘束になっていないか振り返り、お互い身体拘束にならないケアに努めている。</p>	<p>朝の申し送り時に職員間で身体拘束での可・否を把握しており、拘束関連の報道が流れた時などは即時に話し合っている。玄関は午後8時に施錠している。布団に鈴を付けて鈴の音で見回りを行う等の工夫を行っている。職員の拘束的な言葉かけに対してはその場で注意している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>職員会議などで高齢者虐待防止法について話し合い、常に虐待に繋がっていないか確認をし、虐待防止に努めています。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>日常生活自立支援制度を利用されている方もおり社会福祉協議会の担当者と連絡を取り合ったり、支援が必要な時は市職員と話し合いを持てるように努めています。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約に関する説明はご家族に十分理解してもらえるよう説明行っており、改定等の時は文書及び口頭で説明を行い理解を得られるように努めています。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>ご家族が面会にこられた時や家族会の際に職員や管理者に意見要望が伝えられるような信頼関係を築き、運営に反映させられるように努めています。</p>	<p>利用者や家族等とは気軽に要望や意見が話せる関係である。利用者や家族の要望に応じて職員は利用者と一緒にドライブや隣町の大型店舗で買い物や外食をする等、支援している。意見箱も設置している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>職員会議や朝の申し送りの時等職員の意見を聞き反映できるように努めています。</p>	<p>職員会議や朝礼で意見や要望など聞いている。天気の良い日は利用者とドライブに出かけたり、不穏状態の時の支援の在り方、外食希望の利用者と計画をたてて出かける等、職員の意見やアイデアが運営に反映している。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>職員の勤務状況や実績等を把握し向上心を持って働ける環境を整備してやりがいにつながるよう努めています。</p>		
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>事業所内研修や、事業所外研修に参加できるように、又研修に合わせた休みの確保や職員育成に努めています。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>グループホーム連絡協議会への加入や施設外研修で他職員との交流や意見交換を行えるように努めサービスの質の向上に努めています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ご本人の今まで生きてこられた生活の歴史や情報を収集し、現在の要望や不安が何か耳を傾け、安心につながるよう信頼関係を築けるように努めます。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族の思いに耳を傾け、ご家族の不安や要望に対し安心していただけるような関係づくりに努めています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	地域にある地域資源は何があるか情報を収集し、必要とする支援や他のサービス利用も視野に入れた対応に努めるようにしています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	職員は、認知症の症状からできなくなっていることを理解したうえで、ご本人の”できる”ことを支援し、人生の先輩として知恵をいただいたき共に支え合う関係を築いています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		<p>○本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>職員は、家族との会話の中から思いを汲み取り共にご本人を支えたと共に家族の絆も大切にしています。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>ご家族の中には毎月会いに来られたり、島外に住んでる方は電話をかけて下さり職員は近況報告をしています。又教会のミサへ定期的に参加される方もおり今までの関係が継続できるように努めています。</p>	<p>職員や家族・友人が墓参りに同行したり、携帯電話で家族との会話を楽しんでいる利用者もいる。教会のミサに友達と参加したり、神父の定期的な訪問もある。馴染みの店へ買い物や自宅に家族が連れて帰るなど、馴染みの関係が途切れない支援を行っている。</p>	
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>利用者同士の関係性について情報を共有し個人が孤立しないように見守り、利用者同士がうまくいくように職員が調整役として働きかけています。</p>		
22		<p>○関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>サービス利用終了後も、会いに行ったりお見舞いに行き、移った先に支援内容や注意が必要な点等を情報提供しています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ご本人との会話の中や、日々のかかわりの中で言葉、表情から汲み取り、意思疎通困難な方からはご家族や他の方からの情報を得るようにしています。	入居時の情報を参考にして思いや意向を把握している。利用者とは話をしていると思い出すこともある。表情や会話・しぐさなどや気分のいい時に思いや意向の把握を行っている。把握の困難な場合は家族や親せきの方に伺うなどして本人本位に検討している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし、生活環境など又サービス利用の経過等情報をもとに暮らしの把握に努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	それぞれの生活歴があるように習慣やご本人のできることへの支援、生活リズム等把握に努めています。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご本人、ご家族からの思いを聞き、反映させている。職員全員でモニタリング、カンファレンスを行っている	本人や家族の要望・意向を聞きながら、職員でカンファレンスを行い介護計画書を作成している。モニタリングは毎月1回行い、状況の変化時は様子を見ながら現状に即した介護計画を作成している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々個人記録やケアチェック表など記載しており、職員間の情報共有を行っています。個人記録をもとに評価を行い介護計画の見直しを行っています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご本人の希望によって訪問理美容を利用されたり、民生委員の方が運営推進会議などに参加、意見交換など行っています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	ご本人の希望によって訪問理美容を利用されたり、民生委員の方が運営推進会議などに参加、意見交換など行っています。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人、家族が希望するかかりつけ医がいます。訪問診療やご家族付き添いの通院を行っており、時には状況によって職員が病院付き添い等おこなっています。	本人や家族の希望するかかりつけ医を受診している。担当医の訪問診療もある。定期受診は家族が付き添ったり事業所から行く場合もある。緊急時はかかりつけ医と連絡し、救急搬送時は家族に連絡して来てもらうなど、適切な医療を受けられるよう支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>施設看護師や、訪問看護師などと情報を共有し利用者の健康管理に努めます。又体調の変化を見ながら早めの対応を心がけています</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>利用者が入院の際は病院関係者と密に連携を取り、できるだけ早めに退院ができるよう相談に努めています。又ご家族とも退院に向けての連携を図っています。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>入居時には重度化した場合の対応をご家族と話し合っています。入居中状態の変化がある場合はその都度ご家族に状況説明し方針を共有し職員と共に支援に取り組んでいます</p>	<p>重度化や終末期のあり方について、入居時に家族に説明し話し合っている。事業所で対応できる事とできない事なども説明している。事業所として終末期支援を行っている。家族の協力体制もできている。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>急変時の初期対応を定期的に訓練し、実践力が身につけられるようにしています</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>消防署の協力を経て避難訓練、避難経路の確認、消火器の使い方等の訓練を定期的に行っています。</p>	<p>年2回、消防署の指導のもと、夜間想定での防災訓練を実施しておりユニット毎でも避難訓練を行っている。避難経路の確認などもユニットごとに行いシートを使っての搬送なども定期的に行っている。運営推進会議の参加者にも連絡している。おにぎりや果物・シーチキンの缶詰・水等を備蓄している。オムツや毛布等も用意している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	ご本人の意思を確認しながら、誇りやプライバシーを損ねないように言葉かけや対応をするように努めています。	利用者一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保についてマニュアルを基に年1回研修会を行っている。トイレ誘導の声掛けやトイレ使用時のドアの開閉などには十分気をつけるようにしている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ご本人が意思表示できない方には「大丈夫、大丈夫でない」と単語で言ってもらったり、本人が答えられやすい選択枝を提案しています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ご本人の希望に沿って買い物、外食と予定を組んで職員は付き添い行っています。又お墓参りに行きたいと要望ある時は付き添いで出かけます。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	ご本人の馴染みの散髪屋で散髪を行ったり、希望があれば施設で散髪を行っています。行事の時にはお化粧品など行い身支度をしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の準備や片づけなど手伝ってもらい、一緒に食事を作ることもあります。好みのメニュー等リクエストもいただいています。	利用者がお好み焼きを作ったり、お盆を洗う等、職員と一緒にに行っている。外食に出かけたり、護岸にテーブルを出してスイカを食べたり事業所の中庭でお茶をしたり、利用者が楽しみながら食事ができるように支援している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	1人一人の状態に合わせて水分量や食事量など職員間で情報共有し、ご本人の口に合うような好みのものをお出ししています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	1人一人のできる能力に合わせて、口腔ケアの手伝いをしています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄チェック表を見ながら、定期的に声掛けし誘導行ったり、見守りなど行っておりトイレでの排泄ができるよう支援行っています。	トイレ誘導は排泄チェック表を参考に時間をみながらトイレへの誘導を行ったり、水分や体調管理も確認しながら、トイレでの排泄の自立に向けた支援を行っている。オムツ使用の利用者にもトイレでの排泄を声掛けしながらオムツ交換を行っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排泄パターンを記録などで把握し、乳製品や水分を多めに飲んでいただいたり、体を動かすことや体操などに取り組んでいます。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	ご本人の希望する日の入浴や、一人で入りたいと希望がある時は見守りの中入浴を楽しんでいただいています。	日曜日以外毎日、午前中に入浴が楽しめるよう支援しており、入浴拒否があっても最低週2回は入浴できるよう支援している。便失禁時にも入浴する事で心身的にも気持ちよく過ごせる様に支援している。事業所のタンカン農園で取れたタンカンを浴槽に浮かべ色と香りを楽しめる様に工夫している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	なるべく日中は横になる時間を少なくし、活動的していただくよう声かけや、夜間の睡眠時間などの様子など記録から把握するようにしています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	利用者の服薬の処方箋をファイルに綴り職員が内容を把握できるようにしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>利用者の喜びである教会へのミサへの参加、外出、地域行事への参加等の支援を行っています。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>1人一人の希望に沿って、自宅へ外出されたり、外食、買い物支援を行っています。</p>	<p>職員と一緒に散歩や外食を楽しんだり、車で島内のふん茶峠や太陽が丘に出かけるなど、戸外の空気が楽しめるよう支援している。少人数でドライブが楽しめるような支援もしている。家族と一緒に食事に出かけたり、外泊を楽しむ利用者もいる。受診の帰りにドライブで気分転換が図れるような支援もしている。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>ご本人や家族の希望に沿ってお金を預かっていますが、その時々で少量のお金をご本人が手元に持っていってらっしゃる方もいらっしゃいます。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	ご本人が携帯を持参され、ご家族と連絡を取っていらっしゃっています。携帯の充電等職員は行っています。又お手紙を頂いたり、贈り物が届いた時は電話でお話をされています。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	フロアの飾りつけや家具の配置は利用者の方と相談しながら行っており。生活感を感じていただけるよう工夫しています。	共用空間のフロアの壁には利用者がトイレットペーパーの芯を利用して作成したカーテンが飾られており、近くの小学生や中学生との交流の写真や感想分が掲示されている。新聞をちぎって作成された花やハートのちぎり絵も展示されて楽しい思い出がイメージされる。共用空間の玄関・廊下・居間・台所・食堂・浴室・トイレ等も掃除が行き届いており清潔感があり、居心地よくゆったりした空気が漂っている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	玄関には衝立を配置し落ち着いて過ごせるようにしており、ソファでは好きな時に座っていただいています。デッキにはテーブルとイスを配置し自然を感じ過ごすことができます。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>ご家族やご本人と相談し使い慣れた家具、椅子など又写真を飾ったりラジオを聴いたり、仏壇も置き居心地よく過ごせるよう工夫しています。</p>	<p>自宅で使用していた家具や可愛いぬいぐるみ、位牌を持ち込んで毎朝、お茶をあげて手を合わせている利用者もいる。家族が面会に来た時の写真や花好きの利用者の家族が花を飾ったりする等、本人が居心地よく過ごせるような工夫がされている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>利用者の状態に合わせ、お部屋前に表札を作ったりと状態に合わせて職員間で話し合いを重ね自立した支援ができるように工夫しています。</p>	/	

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9,10,19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない